

# 水田たより 9月号

令和2年9月1日

JA みえきた

桑名地域農業改良普及センター

## 水稲収穫後のほ場管理

次年度に向けて雑草対策及びジャンボタニシ対策を行いましょ！

### 雑草対策

水稲収穫後に対策を行うことで、次年の発生を抑制することができます。

雑草の種類	雑草の例	対策
多年生雑草	オモダカ、コウキヤガラ	収穫後耕起し、塊茎を低温や乾燥にさらす。
一年生雑草	ヒエ、コナギ、クサネム、ヒレタゴボウ	耕起はせずに、種子を低温や乾燥にさらす。
匍匐性雑草	キシウスズメノヒエ、アシカキ	収穫後すぐに茎葉処理剤を散布する。

### ジャンボタニシ対策

収穫後もほ場内の貝はまだ多く残っているため、次年に向けての対策を行いましょ。

#### ○耕起による貝の破碎

越冬貝は地表6cmまでに存在しているので、浅耕により貝を破碎すると効果的です。

土壌が乾いている時に、PTO回転数を早くし、ゆっくりと走行し耕起しましょ。

#### ○石灰窒素

収穫後、水温が15以上の時期に3~4cm湛水を保ちます。**石灰窒素20~30kg/10a**を全面散布して3~4日放置します。田面水は用水路に流さず、田面が乾いたら耕起しましょ。

散布の際は周囲への飛散に十分注意してください。

## 大豆の栽培管理

カメムシ防除と尿素の葉面散布を併用し、収量アップをはかりましょ！

### カメムシ防除

今年は、水稲において斑点米カメムシが例年よりも早い時期から多く発生しています。大豆においても吸実性カメムシの発生が多くなると見込まれます。

昨年大豆収量調査において、**カメムシ防除未実施**ほ場では、防除ほ場と比べて**被害粒が4倍に増加し、収量が2割減少**しました。

防除方法としては、若莢期（開花後20~30日頃）と子実肥大期（開花期後45~50日頃）の**薬剤散布が有効**です。

**8月上旬播き**での薬剤散布は、**9月中旬と10月上旬の2回**行うのが効果的です。やむなく1回のみ防除を行う場合は、水稲からカメムシが飛散する水稲収穫後「9月中下旬」が最も効果的です。

散布薬剤

(令和2年8月1日現在)

薬剤名	希釈倍数	散布量	使用時期
キラップフロアブル	2,000倍	100~300L/10a	収穫7日前まで
スタークル液剤10	1,000倍		

農薬の使用にあたっては、ラベルに記載された内容を十分に確認してください。

### 尿素葉面散布

開花期~若莢期（8月上旬播きでは9月中旬まで）に、**尿素等窒素資材を葉面散布**することで、**大豆の子実が充実し、収量・品質の向上**が期待できます。

**1回目のカメムシ防除と同時に行う**ことができるので、ぜひ取り組んでみてください。

尿素添加の場合、1.5%（水100Lに1.5kg）を目安に散布してください。（裏面へ）

## 令和2年産麦の状況及び 令和3年産麦のほ場準備

令和3年産麦に向けたほ場準備をしましょう！！

### 令和2年産麦について

令和元年・令和2年ともに暖冬で生育が早く、収穫時期の天候も良くスムーズな収穫ができました。

当地域の小麦の単収は年々増加していますが、まだ伸びしろがある状況です。

そこで、

### さらなる収量アップに向けて

#### 1. 土壌改良資材（pH矯正）や堆肥の投入

連作障害回避と地力回復

#### 2. 排水対策（チゼル深耕、周囲溝の設置）の徹底

播種遅れ防止及び湿害回避

#### 3. 幼穂形成期以降の追肥の実施

生育量の確保

に取り組みましょう！

~~—令和3年産麦においても、チゼル等を導入した深耕に取り組むほ場には県枠の産地交付金（1,500円/10a）が支払われますので、ぜひご活用ください。（削除）~~

### 令和3年産麦のほ場準備について

近年、麦・大豆の連作ほ場において、pHの低下が見られます。**麦の土壌pHの適正範囲は、6.0～6.5**です。特に、pH5.5以下になると生育障害（生育の遅れ、分げつ数の低下、根系の弱化など）を引き起こす場合がありますので、土壌改良資材でpH矯正を行ってください。

○土づくりに効果的な資材の例

資材	特徴	施用(kg/10a)
苦土石灰(マグカル)	pH矯正に効果があります。	100
農力アップ	ケイ酸や微量元素(苦土、マンガン)も含んでいるので、pH矯正だけでなく土づくりにも効果があります。	

### 小麦単収(kg/10a)

品種	地域	令和元年産	令和2年産
さとのそら	桑名市・木曾岬町	374	371
あやひかり	いなべ市・東員町	277	261
	三重県全体	385	369

速報値

### チゼル深耕試験結果

(令和2年産あやひかり、東員)

	チゼル深耕	ロータリー耕
精麦重(kg/10a)	629	557
千粒重(g)	45.4	42.5
くず麦重(kg/10a)	1.8	2.4

チゼル深耕を行ったほ場では、ロータリー耕と比べて1割以上収量が増加。(桑名普及センター調べ)

### 堆肥施用試験結果

(令和2年産あやひかり、大安)

	堆肥施用	堆肥無し
精麦重(kg/10a)	707	624
千粒重(g)	44.8	45.8
くず麦重(kg/10a)	1.7	1.5

堆肥施用ほ場(牛糞堆肥 1t/10a)では、堆肥無し栽培と比べて、1割以上収量が増加。(桑名普及センター調べ)



LINE 公式アカウント はじめました！

桑名普及センターでは、LINE 公式アカウントを取得し、作物関係の情報を配信しております。JA及び普及センターが配布しております、紙ベースの水田たより等から友だち追加を行ってください。ホームページにおいては、これまで通り、過去の水田たよりや他の情報も掲載しています。桑名普及でご検索ください。